

行雲流水

No.235 令和4年7月12日発行

「第7波」への備え

校長 寒河江 正人

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より深く感謝申し上げます。

1学期期末テストが終わり、早いもので1学期も残すところ、**10日余り**となりました。
より良い「**しめくくり**」をして、夏休みへと入れるよう、よろしくお願い致します。

さて、保護者の皆様も新聞・テレビ等の報道でご承知のとおり、
またしても、「新型コロナウイルス感染症」の新規感染者が増え始めました。
新たな「**第7波の到来**」に言及する専門家もおります。

山形県内のみならず、東根市内の小中学校においても、次第に感染が拡大しており、
学級閉鎖・学年閉鎖の措置をとる学校が出始めました。
本校でも、少しずつ「感染者（陽性者）」「濃厚接触者」が生じ始めております。
「感染の波」は、すぐそこまで迫っていると思わねばなりません。

特に話題になっているのは、感染力の「速さ」と「強さ」です。
わずか2～3日で、学級閉鎖・学年閉鎖を判断せねばならないほどであります。
もはや過小評価は、禁物です。

今週末には「**吹奏楽コンクール最北地区予選会**」、
来週末には「**県中総体**」「**県中テニス選手権**」が控えております。

こうした「**大会やコンクールの舞台**」を楽しみに準備を進めてきました。
これまで練習してきた「**生徒の活躍の機会**」を何としても叶えてやりたいものです。

つきましては、山形県教育委員会の通知及び東根市教育委員会の指導・助言に基づいて、
裏面のとおり、速やかな初期対応をとるべく、感染拡大防止の措置をとります。

本校の部活動及びスポ少に係る関係各位のご理解とご協力によって、本校の生徒たちが
「**大会やコンクールの舞台**」に立てるよう、何卒お力添えをよろしくお願い致します。